

## 『いまだに続く差別をなくすために—ハンセン病回復者及びその家族に対する差別から、独立した人権救済機関の必要性を考える』

主催 日本弁護士連合会 共催 岡山弁護士会

日弁連は、人権の促進及び擁護のための国家機関（国内人権機関）の地位に関する原則（パリ原則）にのっとりた国内人権機関の設置実現のために全力を尽くす決意を表明しています。

ハンセン病回復者及びその家族に対しては89年の長きにわたって国の政策として強制隔離政策がなされ、極めて甚大な人権侵害行為がなされてきましたが、ハンセン病回復者やその家族に対しては、現在もなお不当な偏見・差別が横行しています。

このような、ハンセン病回復者及びその家族に対するものを始めとする、社会に蔓延する偏見・差別を解消するためにはどのようなことが必要か、どのような方法があるかなどについて、政府から独立した人権救済機関である国内人権機関の果たす機能と関連づけながら、深く考察する機会をもつことを目指して、全国13の国立ハンセン病療養所のうち2か所が存在している岡山において本シンポジウムを開催します。

Zoomでも御参加いただけますので、是非御参加ください。

### プログラム（予定）

#### 1 基調講演

青木美憲氏（国立療養所邑久光明園園長）

内田博文氏（九州大学名誉教授）

手話通訳，UDトークあり

#### 2 パネルディスカッション

パネリスト：内田博文氏、青木美憲氏、藤原精吾会員（兵庫県弁護士会、日弁連国内人権機関実現委員会副委員長）

コーディネーター：塩山 乱会員（福岡県弁護士会、日弁連国内人権機関実現委員会副委員長）

## 2022年10月21日（金）17時30分～20時

### 参加方法

会場参加（事前申込み 先着60名 於：岡山弁護士会館）  
及び Zoom ウェビナー により参加できます

### 申込方法

締切：2022年10月17日（月）

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/doksankamo/dokuritsu/>  
上記URL又は二次元バーコードから必要事項を入力し、お申し込みください。申込みいただいた方に、追ってZoom参加方法などをお知らせします。当日の一般会場参加は先着順60名様となります。なお、UDトークの利用を希望される方は、上記URL又は二次元バーコードからその旨御連絡ください。



※御提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理し、本シンポジウムの事務のために利用します。また、この個人情報に基づき、日本弁護士連合会又は日本弁護士連合会が委託した第三者から、シンポジウム等のイベントの開催案内、書籍の御案内その他当連合会が有益であると判断する情報を御案内させていただくことがあるほか、個人情報は、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないような状態で公表することがあります。